



～感謝し、感謝される人に～

沖縄への修学旅行、たくさんの人々に出会いました。

10月21日(月)から24日(木)までの3泊4日、3年生が修学旅行で沖縄を訪問しました。台風27号の影響で波が高く、3日目のシュノーケリング体験を別メニューに変更しましたが、そのほかはすべて予定通りの行程で活動し、全員元気に帰着しました。4日間を振り返ってみたいと思います。



10月21日(月) ひめゆりの塔、アンティラガマ、平和祈念公園

「命こそ宝(沖縄の言葉で「ぬちどうたから」)」を実感する初日でした。平和祈念公園では、沖縄戦で亡くなられた兵庫県出身の方々を慰霊する「のじぎくの塔」に千羽鶴を奉納しました。セレモニーの前に慰霊碑周辺で清掃活動を行ったのですが、同行してくださったガイドの玉城さんから「すごいね、20年分のほこりを掃除してくれて、こんな修学旅行生はいませんよ」と言っていただきました。泊まったホテルがとても高級感があってびっくりしましたね。でも夕食バイキングでは皆さんの食欲にもっとびっくり(@_@)。



10月22日(火) 美ら海水族館、読谷村民泊



美ら海水族館ではジンベイザメの雄大な姿に感動。海の向こうに見える伊江島の景色もすばらしかったですね。短い時間でおみやげもしっかりゲットした皆さんの行動力には脱帽です。読谷村では知花さん、仲村さん宅にお世話になりました。二家族が残波岬で合流して、巨大シーサーの前で写真を撮りました。(→)



10月23日(水) 民泊、琉球村、首里城

波が高かったためシュノーケリングは体験できませんでしたが、そのぶん民泊先に長めに滞在させていただきました。お別れの退村式では、「たくさんの修学旅行生が来られますが、こんなにいい生徒さん達はおられませんよ」と最高のお言葉をいただきました。琉球村ではアクセサリーづくりに挑戦。学校で留守番をしてきているクラスメートの分もみんなで作りました。首里城を訪れた夕方が、雨が一番強かったですね。風邪をひかないかと心配しましたが、皆元気にこの日の行程を終えました。



10月24日(木) 那覇市内(国際通り) 班別自由行動

最終日の国際通り散策は、やっぱり買い物がメインだったようですね。中には沖縄に来たときの2倍の荷物をかかえて家路につく人も…。台風の影響もなく無事に伊丹空港へ。到着と同時にアルバイト先に報告して翌日の仕事のことを伝えている人、おみやげを勤務先の一人ひとりに選んで買ってきている人など、社会人としてしっかりやってくれている皆さんの姿に触れることもできました。「おかえり」と出迎えてくれた家族の笑顔が、さらに満足感を高めてくれたことは、言うまでもありません。「ありがとう」に始まり「ありがとう」に終わる旅でした。将来かならず皆さんの「栄養」になる貴重な体験の連続でしたね。明日からの皆さんにおおいに期待しています。(右の写真は美ら海水族館で撮影)



最後に、この修学旅行の成果は「豊高定時制」みんなのものです。一つの思いを、一人ひとりの努力と創意工夫でつないでいくところに意味があるのです。豊高定時制修学旅行という新たな伝統を、また来年へしっかりとつないでいきましょう。

今回、伝えたいことが多いため文字を小さめにしています。ご了承ください。

修学旅行も「ステップアップ」の大切な一歩。明日から頑張るエネルギーに変えていきましょう。